

2024 年度事業報告

2024 年度の諸事業は、2024 年 3 月の理事会で承認された事業計画を順次実施した。

■ 4 つの事業について以下にまとめる。

1)【芸術活動助成】(公益財団法人 朝日新聞文化財団 定款第 4 条1の事業)

2024 年度の芸術活動助成事業は、2024 年 2 月 3 日および 2 月 7 日に選考委員会を開き、助成対象を決めた。応募は 334 件(音楽 207 件、美術 127 件)あり、前年度の 292 件から 42 件増加した(前年度比音楽 30 件、美術 12 件)。前年度からの延期事業を加え、125 件(音楽 83 件、美術 42 件)に対して 1560 万円の助成を決定した。音楽分野では黒字による返上 2 件 30 万円、中止 2 件 30 万円、美術分野では延期 1 件 10 万円が生じた。結果、120 件に 1490 万円を助成した。

2)【文化財保護活動助成】(公益財団法人 朝日新聞文化財団 定款第 4 条 2 の事業)

2023 年 9 月 9 日に開かれた選考委員会、2024 年度助成実施対象事業として応募があった 37 件(継続中の複数年事業を含む)の中から、京都・清涼寺の「国宝絹本著色十六羅漢像」の保存・修理など 31 件に対して総額 5030 万円の助成を決定した。延期 1 件 150 万円があり、4880 万円を助成した。なお、保留となっていた 21 年度事業の浄土院「絹本著色地藏菩薩二童子像保存修理事業」の 240 万円を一旦、取り消した。

3)【朝日賞の贈呈】(公益財団法人 朝日新聞文化財団 定款第 4 条 3 の事業)

2024 年度の朝日賞は、下記の 4 件、5 氏に贈呈された。

◇今井 信子(いまい・のぶこ 81 歳) ピオラ奏者

「ピオラ奏者としての世界的な活躍と、教育への貢献」

◇真田 広之(さなだ・ひろゆき 64 歳) 俳優

「米ハリウッドで切り拓いた国際的な俳優活動の実践」

◇緒方 芳子(おがた・よしこ 48 歳) 京都大学数理解析研究所教授

「量子統計力学から生じる数学的問題の研究」

◇谷口 尚(たにぐち・たかし 65 歳) 国立研究開発法人物質・材料研究機構理事

渡邊 賢司(わたなべ・けんじ 62 歳) 国立研究開発法人物質・材料研究機構特命研究員

「窒化ホウ素結晶の高品位合成と量子材料研究への貢献」

受賞者の業績と横顔は 2025 年 1 月 1 日の朝日新聞に掲載された。

1 月 30 日に帝国ホテルで、贈呈式、祝賀パーティーを開催し、5 氏に正賞のブロンズ像(彫刻家で 1988 年度朝日賞受賞者の佐藤忠良氏の作品「陽」と副賞 500 万円(1件につき)贈り、朝日新聞デジタルを通じてオンラインで受賞の喜びを伝えた。

4)【大阪国際フェスティバル】(公益財団法人朝日新聞文化財団 定款第 4 条 4 の事業)

毎年、大阪・中之島のフェスティバルホールで開催している「大阪国際フェスティバル」は、予定していた 4 公演を以下の通り実施した。

・4 月 20 日「関西 6 オケ! 2024」

・6 月 12 日「鈴木優人×関西フィル〜二つの〈四季〉と〈春の祭典〉」

・8 月 2 日「大阪フィル×尾高忠明〜マーラー〈復活〉」

・11月9日「ウィーン・フィル管弦楽団」大阪公演

チケット販売や協賛金の収入は1億7278万円(同7499万円)、事業支出は1億6853万円(23年度7456万円)で、424万円の黒字(同43万円)。3期連続で事業黒字となった。

ソリストに五嶋みどりを迎えたウィーン・フィルと待ち望まれていた大フィルのマーラー「復活」の券売が好調だった。チケットの値上げが響き、関西6オケ!はわずかに赤字となった。平日公演となった関西フィルの券売は苦戦した。配賦間接費を含む経常費用全体は1億9380万円で、経常増減は2102万円の赤字。

■ 定型事項について以下にまとめる。

① 経営環境や事業内容の変化の有無

財団の設立母体である新聞社からの寄付金は、財団運営の基礎だが、24年度は4980万円だった。23年度は5300万円、21～22年度は6300万円で減少傾向が続く。それ以前は20年度7800万円、19年度8000万円、18年度8200万円と概ね安定していたが、新聞社の経営不振の影響を受け、近年減額要請が強まって、事業維持には圧倒的に不足している。ここ数年は、保有するテレビ朝日HD株式の配当金が上振れしたことや、経費節減努力、助成規模の縮小などで凌いできたが、持続的な事業実施の基盤は不安定化している。

抜本的な支出削減を行い、持続可能な執行体制を維持するため、歴史的に各事業の展開に深くかかわり、寄付金を拠出している新聞社と今後の事業の在り方について協議を継続している。

② 訴訟案件、偶発債務等は特になし。

③ 法令遵守や不正リスク等については特になし。

④ ゴーイングコンサーン(事業継続性)について

*①にも関わるが、基本財産10億円が超低金利下でほとんど果実を生まない事態が長期化している。このため、安全性を第一義として元本保証の定期預金のみ限定していた資産運用について、経理規則を改定して資金運用規定を新設し、21年度から金銭信託、公社債、株式、投資信託等による運用を可能にした。21年度にまず名古屋高速道路債券(愛知県・名古屋市折半の市場公募債・額面1億円)を、22年度にゆうちょ銀行の株式売り出しで8万株(取得9048万円、24年度末時価1億2048万円)を、23年度に東日本旅客鉄道社債(額面1億円)を購入し、24年度は540万円程度の運用益を確保した。24年度に東京都グリーン・ブルーボンド(額面50万豪ドル=取得4889万円、24年度末為替換算4698万円)、MAXIS全世界株式ETF2535口(取得5485万円、24年度末時価5106万円)、NFTOPIX連動型ETF17400口(取得5013万円、24年度末時価4913万円)、NF高配当株連動型ETF23800口(取得5487万円、24年度末時価5538万円)を購入し、25年度は500万円程度運用益を上乗せする見通し。基本財産の運用枠を8億円まで拡大する予定。

*文化財保護助成の原資となるテレビ朝日HD株式の2024年度の配当予想は、インターネット事業や各種取組みが進捗していることなどから年60円となる予定で、配当収入は23年度と同額の計1億3178万円の見込み(10円期末増配予定を3月7日に発表)。21、22年度は50円(総額1億1485万円)、19、20年度は40円(総額9188万円)だった。ただ、2月に策定した当財団25年度予算では、配当見込額が判明しておらず、今後景気減速も予想される経済情勢の変化に左右されないよう、期末配当予想のうち20円、4594万円のみ計上している。

⑤ 後発事象の有無については特になし。

⑥ 重要な通例にない取引の有無については特になし。

■ 管理運営関係等について以下にまとめる。

◇ 諸会議の開催

- ① 第1回理事会(2024年5月10日)※決算関連・書面
- ② 定時評議員会(2024年6月5日)※決算・人事関連
- ③ 第2回理事会(2024年6月5日)※報告関連
- ④ 第3回理事会(2024年6月17日)※株主議決権関連・書面
- ⑤ 第4回理事会(2024年7月16日)※朝日賞選考委員関連・書面
- ⑥ 第5回理事会(2025年1月28日)※芸術活動助成選考委員関連・書面
- ⑦ 第6回理事会(2025年3月3日)※事業計画・予算関連
- ⑧ 2025年度・文化財保護活動助成選考委員会(2024年9月7日)
- ⑨ 2024年度・朝日賞選考委員会(2024年10月23日～12月2日)
- ⑩ 2025年度・芸術活動助成選考委員会(2025年2月3日、2月6日)

◇ 諸会議の結果

- ① 第1回理事会
 - *開催方法:書面表決
 - *理事会の決議があったものとみなされた日:2024年5月10日
 - *決議方式:定款第42条に基づく書面決議で理事全員が賛成、監事2人も同意
 - *決議事項:「事業報告、収支決算、補欠理事・評議員案」について承認した。
- ② 定時評議員会
 - *開催方法:朝日新聞東京本社レセプションルームに於ける会議
 - *評議員会の決議があった日:2024年6月5日
 - *決議方式:定款第24条に基づく過半数の評議員出席、出席評議員の過半数が賛成
 - *決議事項:「事業報告、収支決算、補欠評議員1名の選任、補欠理事1名の選任、議事録署名人の選任」について全員一致で承認した。
- ③ 第2回理事会
 - *開催方法:朝日新聞東京本社レセプションルームに於ける会議
 - *理事会の決議があった日:2024年6月5日
 - *報告事項:「理事長、常務理事の職務状況報告」についての報告が了承された。
- ④ 第3回理事会
 - *開催方法:書面表決
 - *理事会の決議があったものとみなされた日:2024年6月17日
 - *決議方式:定款第42条に基づく書面決議で理事全員が賛成、監事2人も同意
 - *決議事項:「朝日新聞株主総会にかかるすべての議案への賛成とテレビ朝日ホールディングス株主総会にかかるすべての議案への賛成」について承認した。
- ⑤ 第4回理事会
 - *開催方法:書面表決
 - *理事会の決議があったものとみなされた日:2024年7月16日
 - *決議方式:定款第42条に基づく書面決議で理事全員が賛成、監事2人も同意
 - *決議事項:「朝日賞選考委員選任案(24年8月1日付)」について承認した。

⑥ 第5回理事会

*開催方法:開催方法:書面表決

*理事会の決議があったものとみなされた日:2025年1月28日

*決議方式:定款第42条に基づく書面決議で理事全員が賛成、監事2人も同意

*決議事項:「芸術活動助成選考委員選任案」について承認した。

⑦ 第6回理事会

*開催方法:朝日新聞東京本社ダイニングルームに於ける会議

*理事会の決議があった日:2025年3月6日

*決議方式:定款第41条に基づく過半数の理事出席、出席理事の過半数が賛成

*決議事項:「25年度事業計画、収支予算、特別費用準備資金積立計画、資金運用計画、25年度定時評議員会招集、理事長・常務理事の職務状況報告、25年度第1回理事会の書面決議、第2回理事会の開催」について承認した。

⑧ 2025年度文化財保護活動助成選考委員会

*日時:2024年9月7日

*場所:東京都千代田区丸の内の朝日新聞文化財団会議室

*出席者:選考委員7名中7人(有賀祥隆、武田佐知子、根立研介、広瀬和雄、本田光子、高妻洋成、中村俊介)

*選考結果:2025年度実施の対象事業として応募があった30件の中から継続複数年事業を含め、国宝「紙本著色明恵上人像 保存修理事業」(京都府・梶尾山高山寺)など27件に計5256万円の助成を決定した。

⑨ 2024年度朝日賞選考委員会

*日時:2024年12月2日

*場所:東京都中央区築地の朝日新聞東京本社レセプションルーム

*出席者:選考委員9名(青柳正規、伊東豊雄、稲葉カヨ、梶田隆章、榊裕之、野田秀樹、上野千鶴子、坂尻顕吾、中村史郎)

⑩ 2025年度芸術活動助成選考委員会

A) 音楽分野

*日時:2025年2月3日

*場所:東京都千代田区丸の内の朝日新聞文化財団会議室

*出席者:沼尻竜典、白石美雪、吉田純子(以下、書面出席)、
建畠哲、水沢勉、大西若人、以上6名(選考委員総数6名)

*選考結果:2025年度実施の対象事業として応募があった175件の中から、「オペラ『蝶々夫人』全幕公演」(長崎県オペラ協会)など77件に総額950万円の助成を決めた。

B) 美術分野

*日時:2025年2月6日

*場所:東京都千代田区丸の内の朝日新聞文化財団会議室

*出席者:建畠哲、水沢勉、大西若人(以下、書面出席)、
沼尻竜典、白石美雪、吉田純子、以上6名(選考委員総数6名)

*選考結果:2025年度実施の対象事業として応募100件の中から、「Anamnesis -絵画におけるアナムネーシス-」(菊地武彦)など41件に総額550万円の助成を決めた。

以上